



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告 ホームページ：http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部
インターネットホームページ	http://www.soft99.co.jp

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店で取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

ホームページのご案内

http://www.soft99.co.jp

IR情報は、こちらのボタンをクリックしてください。



株主様向け三田工場見学会のご案内

株主様向けの工場見学会を下記の通り実施いたします。

■日時（各回10名様）

平成29年3～5月の各月1回（所要時間約2時間）

■見学場所

三田工場（兵庫県三田市テクノパーク14-1）

＊工場までの交通費は各自のご負担とさせていただきます。

＊写真撮影はご遠慮ください。

■対象者

当社株式100株以上をご所有の株主様

＊同伴者は小学生以上の方1名までとさせていただきます。

■応募・お問合せ先

人事総務部
TEL 06-6942-8761



COMPANY REPORT

第63期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

ソフト99コーポレーション

『生活文化創造企業』の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

代表取締役社長
田中 秀明



当第2四半期連結累計期間業績についてのご報告

平素より当社グループの事業活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内では雇用・所得環境の改善により経済が回復基調となるものの、個人消費はモノの購入から娯楽やサービスへと嗜好が移り変わり、新車販売は伸び悩み、物販店においては来店客数が減少するなど、引き続き厳しい環境にあったと認識しております。

このような中で、当社グループは、当期、第4次中期

経営計画「SOFT99 Drive」の最終年度を迎え、営業・開発両面で様々な取り組みを行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間における主な取り組みについてのご報告

ファインケミカル事業では、本年はガラス撥水剤「ガラコ」発売25周年として、企画品の販売を積極的に展開いたしました。また前年より、オレンジ色のガラコワゴンで全国を回るキャンペーンを実施し、カー用品専門店だけでなくパーキングエリアでイベントを行うことで、

カー用品に馴染みのないユーザーへの認知度向上に努めてまいりました。このように、市場の拡大が難しくなる中で新しい顧客層の創造に取り組むとともに、カー用品との接点が薄れていたユーザーに対してもラジオ広告などの販促を用いて再度呼び起こしを図りました。

開発面では、現中期経営計画において自動車市場の数年後の姿を想定した取り組みを意識し、自動車の素材の変化に対応すべく、ガラスだけでなく樹脂素材にも使用できる撥水剤「ガラコブレイヴ」を発売いたしました。これは二輪用ヘルメットにも使用できるということから、新たな販路の開拓にも繋がりました。そして、当期は消費者の嗜好を捉えたものづくりへの移行期間と位置付け、将来に向けた開発体制の整備を行っております。

ポーラスマテリアル事業では、主力の半導体などのハイテク産業に加え、新規分野の開拓に注力してまいりました。中でも医療分野は、インフルエンザ検査薬への使用から様々な用途へと水平的に展開が進んでおり、当期および次期中期経営計画においても拡大が期待できる分野であります。

通期の見通しについて

各セグメントにおきましては、国内の環境は引き続き厳しい状況にあるものの、海外市場においては石油価格の持ち直し等を要因に主要仕向け先の経済が回復基調にあります。このような中、当社グループは、引き続き業容の拡大に向けた取り組みを継続してまいります。通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に発表いたしました通り、連結売上高22,400百万円、連結営業利益2,200百万円、連結経常利益2,380百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,580百万円となります。

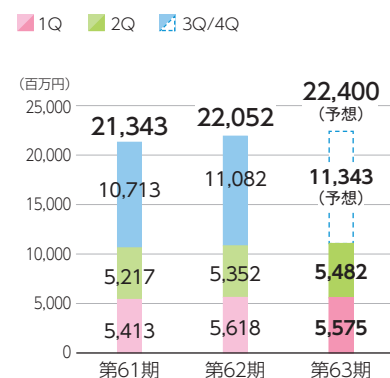
株主の皆さまへ

今後も当社グループは「生活文化創造企業」の経営理念のもと、「未来のあたりまえ」となるような、お客様から末永く愛される製品・サービスの創出を目指し、「新しいこと」への挑戦を行ってまいります。

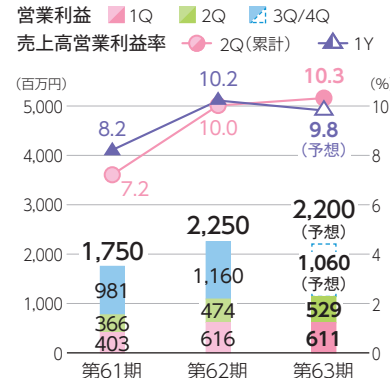
株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

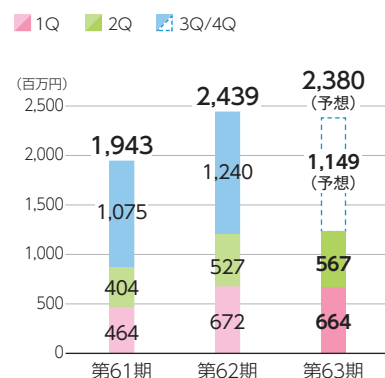
売上高



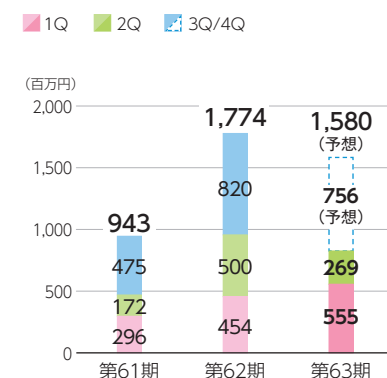
営業利益・売上高営業利益率



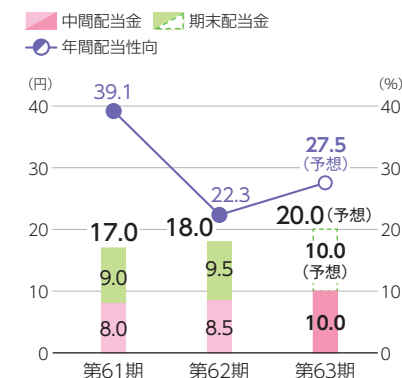
経常利益



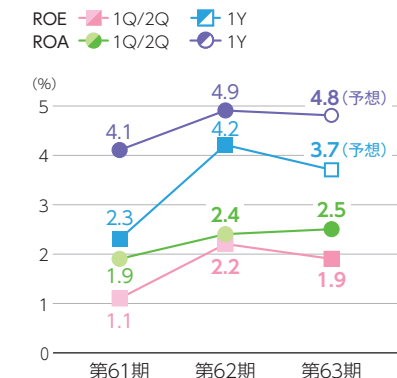
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり配当金・配当性向



ROE・ROA



四半期連結損益計算書（要旨）

科 目	前第2四半期(累計) (27.4.1 から 27.9.30 まで)	当第2四半期(累計) (28.4.1 から 28.9.30 まで)
	(単位：百万円)	
売上高	10,971	11,057
売上原価	7,015	6,988
売上総利益	3,955	4,068
販売費及び一般管理費	2,863	2,927
営業利益	1,091	1,140
営業外収益	115	94
営業外費用	6	2
経常利益	1,200	1,231
特別利益	264	70
特別損失	11	187
税金等調整前四半期純利益	1,453	1,115
法人税等	499	291
親会社株主に帰属する 四半期純利益	954	824

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

営業利益

- 売上総利益
・ファインケミカル
利益率の高い業務用製品販売の伸長や海外向け販売の粗利改善で増益。
- ポーラスマテリアル
販売の好調により工場の稼働が向上し原価を圧縮したことで増益。
- 販売費及び一般管理費
物流倉庫の建替えに伴い一過性の費用が増加したことにより前年同期を上回る。

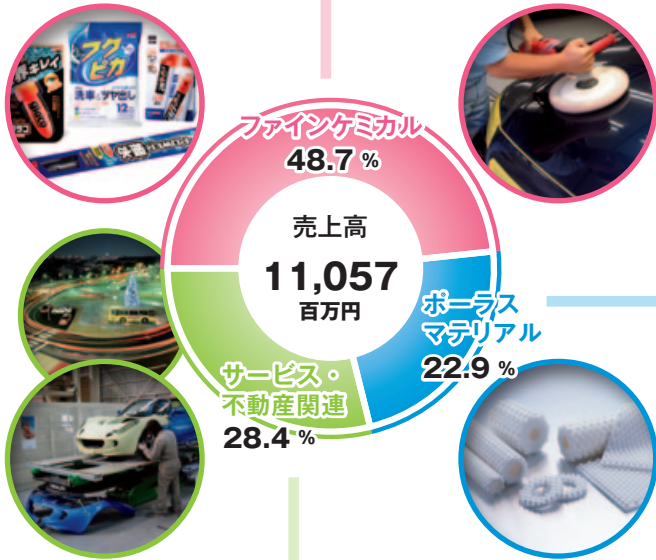
Point

親会社株主に帰属する四半期純利益

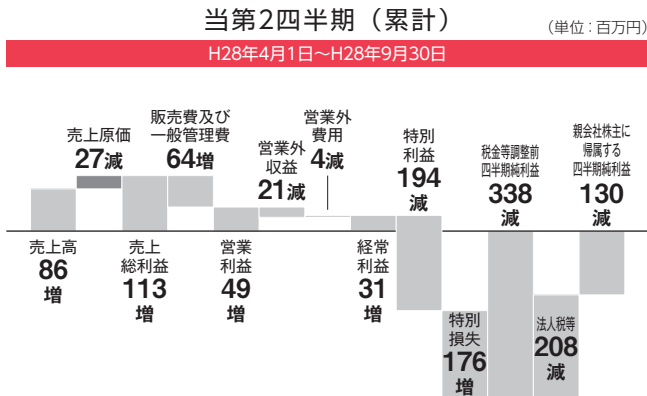
- 前年同期の投資有価証券売却益の影響がなくなったことや、厚生年金基金解散に伴う特別損失の計上により減益。

セグメント別概況

セグメント別売上高構成比



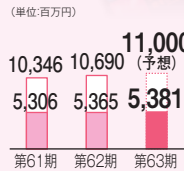
前年同期との比較



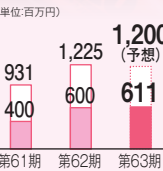
ファインケミカル

Fine Chemical

売上高の推移



営業利益の推移



▲ ガラコワゴン



▲ 新製品 ポディコーティング剤

消費者向け製品販売

- ボディお手入れ製品はコーティング剤の販売を強化し好調に推移したが、タイヤお手入れ製品やシャンプーが苦戦し前年同期を下回る。
- ガラスお手入れ製品は、撥水剤は企画品の導入で販売増加したが、ワイパーは小売店での在庫調整でリピートに苦戦し、前年同期を下回る。
- 自動車用補修製品は補修ケミカル品の販売増加により前年同期を上回る。

業務用製品販売

- 新規販路として開拓が進んだ大手中古車販売店向けに自社ブランドのコーティング剤の継続的な出荷を行ったことで前年同期を上回る。

家庭用製品販売

- メガネケア製品において、メガネのシャンプーの展開店舗が拡大したことや、インターネットでの販売が増加したことで前年同期を上回る。

海外向け製品販売

- 中国向けはガラスケア製品を中心に輸出は好調であったが現地生産品の販売が減少し前年同期を下回る。
- 東アジア向けは韓国、台湾ともにガラスケア製品の販売が好調で前年同期を上回る。
- 東南アジア向けはタイ、マレーシアの販売が回復し前年同期を上回る。
- ロシア向けは高付加価値品の販売強化やエリアごとに異なる消費者ニーズを捉えた製品展開を行ったことで前年同期を上回る。

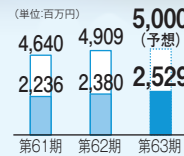
TPMS(タイヤ空気圧監視装置)企画・開発・販売

- 既存顧客におけるトラックの新造台数減少の影響を受けたことで前年同期を下回る。

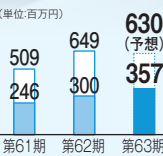
ポーラスマテリアル

Porous Materials

売上高の推移



営業利益の推移



産業資材部門

- 国内販売は主力の半導体用途への販売が増加。新規開拓により開始した医療分野への展開が水平的に進んだ。
- 海外販売は半導体用途は前年同期比増加で好調であったものの、ハードディスク用途の販売が業界の苦戦を背景に減少した。全体では前年同期を上回る。

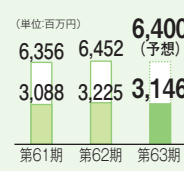
生活資材部門

- 国内販売は自動車用途の製品がファインケミカルの販売ルートを用いた営業活動で販売店舗拡大。家庭用製品が複数店舗での企画展開を図れたことにより好調。
- 海外販売は主力のアメリカ、インドネシアへの出荷増加で前年同期を上回る。

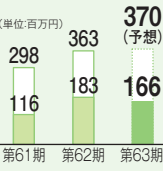
サービス・不動産関連

Service / Real Estate

売上高の推移



営業利益の推移



サービス事業

- 自動車整備・钣金事業は損害保険会社や保険代理店からの入庫が減少したが、自動車ディーラーの新規開拓やコーティング、フィルム施工の販売が進み前年同期を上回る。
- 自動車教習事業は特別車両教習のまとまった入所があったものの、単価の高い大型車教習及び二輪車教習の落ち込みで前年同期を下回る。
- 生活用品企画販売事業は主力の生協向け販売でヒット商品の創出に苦戦し前年同期を下回る。

不動産関連

- 不動産賃貸事業は保有の物流倉庫建替えに伴うテナント賃料収入の減少で前年同期を下回る。
- 温浴事業は一部店舗での設備故障により来店客数が減少し前年同期を下回る。
- 介護予防支援事業は利用者拡大に努め前年同期を上回る。

四半期連結貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)		
科 目	前期末 (28.3.31 現在)	当第2四半期末 (28.9.30 現在)
資 産 の 部		
流動資産	20,909	21,027
固定資産	28,507	28,279
有形固定資産	21,723	21,751
無形固定資産	154	137
投資その他の資産	6,628	6,390
資産合計	49,417	49,307
負 債 の 部		
流動負債	3,209	2,686
固定負債	3,642	3,489
負債合計	6,851	6,175
純資産の部		
株主資本	42,358	42,968
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,229	3,229
利益剰余金	37,226	37,842
自己株式	▲ 408	▲ 414
その他の包括利益累計額	206	162
純資産合計	42,565	43,131
負債、 純資産合計	49,417	49,307

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)			
科 目	前第2四半期（累計） （27.4.1 から 27.9.30 まで）	当第2四半期（累計） （28.4.1 から 28.9.30 まで）	
営業活動による キャッシュ・フロー	1,038	407	
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 7	▲ 425	
財務活動による キャッシュ・フロー	20	▲ 257	
現金及び現金同等物 に係る換算差額	0	▲ 4	
現金及び現金同等物 の増減額（▲は減少）	1,052	▲ 279	
現金及び現金同等物 の期首残高	12,063	14,049	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	13,115	13,769	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point	キャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,115百万円
減価償却費	332百万円
役員退職慰労引当金の増減額（▲は減少）	▲262百万円
厚生年金基金解散損失引当金の増減額	176百万円
法人税等の支払額	▲622百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲457百万円
投資有価証券の取得による支出	▲708百万円
投資有価証券の売却及び償還による収入	604百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	▲41百万円
自己株式の処分による収入	35百万円
配当金の支払額	▲203百万円

株式の状況 & 会社の概要

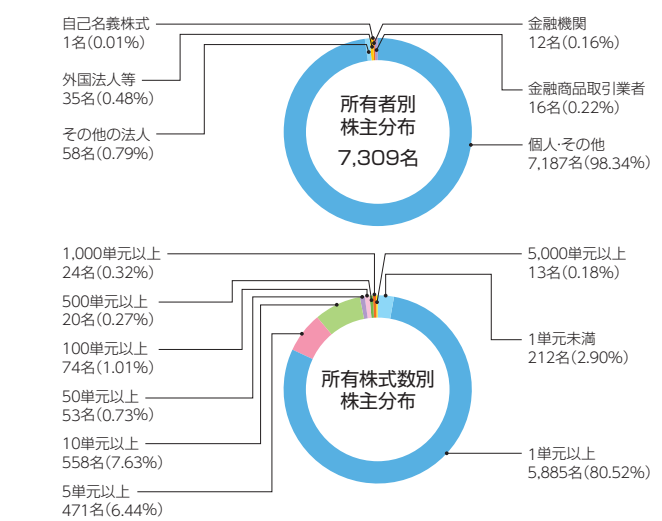
株式の状況（平成28年9月30日現在）

株式の総数	
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	22,274,688株

株主数	
当第2四半期末株主数	7,309名
(自己名義を含む)	

大株主	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528 株	14.8 %
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,425,700	6.5
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	946,300	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	859,400	3.9
株式会社エイチイーエス	835,000	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.6
田中 秀明	661,976	3.0
田中 信	603,720	2.7
佐藤 佐世子	594,192	2.7

※持株比率は、自己株式数（446,025株）を控除して計算しております。



会社の概要（平成28年9月30日現在）

商 号	株式会社ソフト99コーポレーション
設 立	昭和29年10月28日
本 社	大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資 本 金	2,310,056,000円
従 業 員 数	196名
事 業 内 容	自動車用化学製品の製造及び販売

役員（平成28年9月30日現在）

代表取締役社長	田 中 秀 明
常 務 取 締 役	西 川 保
常 務 取 締 役	辻 平 春 幸
取 締 役	奥 埜 佳 秀
取 締 役	石 居 誠
取 締 役	小 西 紀 行
取締役（社外）※	中 務 英 三
取締役（社外）	井 原 慶 子
常 勤 監 査 役	古 居 祐
監査役（社外）※	平 井 康 博
監査役（社外）※	竹 村 聡
監査役（社外）※	樋 口 秀 明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。